

# レスポンスブル・ケア活動の取り組みと実績

環境や安全に関する各種課題に対して、方針を策定し、継続的改善に取り組んでいます。また、環境保全対策に要したコストとその効果を評価するために、環境会計を実施し公表しています。

## ●2024年度の主な取り組み結果および2025年度実施事項

分類	取組項目	2024年度 結果	自己評価	2025年度 実施事項
環境保全	温室効果ガス排出削減 省エネルギー活動の推進	エネルギー原単位年平均2.3%改善(5年度間) 目標達成に向けた施策の検討	○	省エネルギー活動の推進 目標達成に向けた施策の具体化
労働安全衛生・ 保安防災	労働災害・設備災害の撲滅	休業災害 2件(p23)	×	工場のスマート化、安全教育の推進
化学品・製品安全	化学品・製品の安全確保	安衛法*1改正に基づくSDS・ラベルの改訂	○	安衛法改正に基づくSDS・ラベルの改訂
社会との対話	社会への情報公開推進	TCFD*2への対応(リスクと機会の抽出) [HOKKOLレポート2024]発行	○	TCFDへの対応(リスクと機会の影響評価、 対応策の検討) [HOKKOLレポート2025]発行
	地域社会との交流推進	各事業所において地域社会との交流を推進 (p26)		地域住民・地域行政等との対話、地域活動 への参加によるコミュニケーションの推進

\*1 安衛法：労働安全衛生法

\*2 TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

## ●環境会計

### 環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	主な取組内容	投資額*3	費用額*4
1	事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)	265	326
	内訳		
	公害防止コスト	64	153
	地球環境保全コスト	187	0
	資源循環コスト	14	173
2	事業活動に伴ってその上流または下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(上・下流コスト)	0	8
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	5	66
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	0	65
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	0	1
6	環境損傷に対応するコスト(環境損傷対応コスト)	0	0
合計		270	464

\*3 投資額：環境保全に関する設備投資

\*4 費用額：環境保全に関する減価償却費、維持運営費

### 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2023年度	2024年度	対前年度増減量
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (kL)	12,435	12,193	-242
	上水道使用量 (千m <sup>3</sup> )	451	425	-26
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	31,132	30,059	-1,073
	COD排出量 (t)	24.4	20.3	-4.1
	廃棄物等総排出量 (t)	5,850	4,423	-1,427
	リサイクル量 (t)	4,167	3,769	-398
	廃棄物最終処分量 (t)	511	340	-171

### 環境保全効果に伴う経済効果 (単位:百万円)

効果の内容	金額
有価物売却額	15

※環境省「環境会計ガイドライン2005年版」、(社)日本化学工業協会、日本レスポンスブル・ケア協議会「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準じて算定しています。

※2023年度の総エネルギー投入量とCO<sub>2</sub>排出量については、改正省エネ法に基づき見直しを行っています。